

# 和歌山大学観光学部の取組と人材養成

和歌山大学  
大学院観光学研究科長/観光学部長/  
国際観光学研究センター長

藤田 武弘

# 和歌山大学大学院観光学研究科・観光学部

2007(H19) 4月	経済学部 観光学科設置
2008(H20) 4月	観光学部設置 (観光経営学科と地域再生学科)
2011(H23) 4月	観光学研究科修士課程設置
2014(H26) 4月	観光学研究科博士課程設置
2016(H28) 4月	観光学部再編 (観光学科: 観光経営コース・地域再生コース・観光文化コース)

- ・ 設立当初から「授業に茶道、華道を取入れ、日本文化を理解し英語で伝える能力の養成」、「地域インターンシップ(後述)」など特色あるカリキュラムを実施
- ・ H28年度改組により、専門科目を英語で履修可能とする「グローバル・プログラム」設置

「和歌山県・大阪府」出身学生割合55%、高い第一志望率とモチベーション  
「観光立国」政策の推進に相応しい教育研究環境の拡充が期待されるなかで、  
「**観光経営**」・「**地域再生**」・「**観光文化**」という3つの基本領域の相互関係として  
観光学の学問体系の全体像を認識しつつ、このうちのいずれかの領域に主たる専門性を発揮できる「**グローバル**」な視座を備えた人材を養成。

(専任教員の博士学位取得分野14 / 平成28年度科研費採択実績 <観光学> 第一位)

# 地域インターンシップの取組

## LIP ( Local Internship Program )

学生が地域方々と交流を図りながら、地域における観光振興および地域再生の実践を現場で学ぶこと目的とする教育プログラム。

- ・和歌山県下・大阪南部の市町村を中心とした地域からの提案や、観光学部教員と地域の連携からプログラムができる。
- ・「地域観光実習」として単位認定（1単位/活動30時間）卒業認定単位としては8単位まで
- ・費用は、地域もしくは学生負担、観光学部後援会からも一部補助を行う。

	合計	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
延べ人数	839	42	46	18	24	80	73	138	191	227
実人数	742	33	45	17	23	68	69	122	169	196

	合計	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
プログラム	83	6	8	3	4	11	5	10	15	21

# 地域インターンシップの取組

## プログラムの例

- ・ 花園ふるさとセンターの有効活用に関する調査研究【かつらぎ町】
- ・ 秋津野ガーデン附設レストラン「みかん畑」利用客の観光行動アンケート調査【田辺市】
- ・ お城を中心としたまちなか回遊性の創出【和歌山市】
- ・ 青年の家やどりの運営体験およびリニューアルプランの検討【橋本市】
- ・ 「細野溪流キャンプ場」集客向上と地域活性化の検討【紀の川市】
- ・ JA直営型農産物直売所を拠点とした都市農村交流の推進【JAいずみの】
- ・ 和歌山県版・農山村ワーキングホリデーのシステム構築【田辺市】
- ・ 故郷（ふるさと）への誇りを取り戻すためのグリーン・ツーリズム【岩手県奥州市】
- ・ 学生との協働による棚田保全活動体制の構築に関する基礎調査【有田川町】
- ・ みかん産地の農家の今後を考える（有田地域みかん農家経営継続課題調査）【有田市】
- ・ 世代間交流を推進する地域拠点の企画・運営（認知症カフェでの実践を通じて）【紀美野町】
- ・ 特産果樹がもたらす共創価値の創造（新たな健康・産業づくり）【わかやま産業振興財団】
- ・ 産業観光ワークショップ HANNAN OSAKA cotton project【阪南市】

# 地域インターンシップの取組



# グローバル・プログラムの取組

## グローバル・プログラムの特徴

- ・ 専門科目の講義・演習から卒業研究までを英語で学ぶことで、よりグローバルな視野や理解を広げ、国際的な発信力を高めることを目指した科目構成
- ・ 短期語学研修や交換留学等に加え、UNWTO（国連世界観光機関）やPATA（太平洋アジア観光協会）、JICA（国際協力機構）と連携し、ボランティアなど国内外での活動機会を提供

## グローバル・プログラムの仕組み

- ・ 英語での専門科目履修に先立ち、語学（英語）授業に加えて、リスニングやライティング、リーディングのスキルアップを目指す授業の実施・自主学習をサポート（1～2年前期）
- ・ プログラム認定の4つのタイプ（GP対象科目の履修単位数やTOEIC/TOEFLなどの英語能力検定試験のレベルによって決定）

### スキルアップ 1～2年

第一、第二外国語科目や基礎科目の学びのなかで語学力の向上を図る。

- ・ 英語
- ・ Tourism and Language A, B 他

### 基礎専門科目 1～3年

観光に関する基礎的な知識を英語で学び、関心のある研究テーマを決めて、研究を進める。海外語学研修や企業インターンシップ等を通じて実践力を高める。

- ・ Fundamentals of Tourism Studies
- ・ Introduction for Global Activity
- ・ World Tourism Destinations
- ・ Global Corporate Internship
- ・ Global Learning Activity
- ・ Tourism in Japan
- ・ Japanese Culture
- ・ Event Management
- ・ Activity for Project
- ・ Self-Directed Project 他

### 専門科目 2～4年

各自が目指す専門性（観光経営、地域再生、観光文化）を追求しながら、国際的感性や異文化理解の力を涵養する。

- ・ Sustainability and Management
- ・ Tourism and Local Community
- ・ Cultural Studies for Tourism
- ・ Tourism Enterprise and Strategy
- ・ Heritage Tourism
- ・ Sport Tourism
- ・ Tourism Marketing
- ・ Tourism and Landscape
- ・ Tourism and Environment
- ・ Community Based Tourism
- ・ Urban Tourism
- ・ Global Seminar
- ・ Dissertation 他

# 国際観光学研究センターの開設と教育・研究支援

## 国際観光学研究センター（CTR：Center for Tourism Research）

- ・設置目的：国内外の主要な観光学研究機関との連携強化、日本・アジア太平洋地域における観光学研究の牽引（2015年：国立大学「機能強化」観光学における世界的教育研究拠点形成）
- ・主な事業：観光学研究への貢献（特別主幹教授を中心とするユニットによる研究推進）、UNWTOやPATAとの国際連携（UNWTO観光統計概要：Tourism Highlights日本語版作成など）、教育支援（学部・大学院）、広報（セミナー開催）

Key Research Units				Strategic Research Units	
<b>Tourism &amp; Sustainability</b>	<b>Tourism &amp; Development</b>	<b>Tourism Management</b>	<b>Tourism &amp; Culture, Heritage</b>	<b>Tourism &amp; Sports</b>	
Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Graham Miller</b> University of Surrey (UK)	Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Richard Sharpley</b> University of Central Lancashire (UK)	Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Brent Ritchie</b> The University of Queensland (AU)	Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Anna Leask</b> Edinburgh Napier University (UK)	Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Tom Hinch</b> University of Alberta (CA)	Distinguished University Professor of Wakayama University <b>Gordon Walker</b> University of Alberta (CA)
					

# tedQual (観光教育認証) の取得



## 「tedQual」認証プログラム

国連世界観光機関 (United Nations World Tourism Organization : UNWTO) が実施する観光学教育、研究、訓練プログラムの質の向上を目的とした認証制度

## 国連世界観光機関 (UNWTO) の目的

UNWTO は、1970年秋に採択されたUNWTO憲章に基づき設立された、観光分野における世界最大の国際機関。観光の振興・発展により、世界の経済的発展、国際平和、人権尊重などに寄与することが目的 (1975年設立。2003年国連専門機関へ移行、本部はスペイン マドリッド、2015年現在、加盟国157カ国、加盟地域6地域、500以上の賛助会員がいる)。

## 国連世界観光機関 (UNWTO) の活動内容

- ・観光の地位向上と競争力の強化
- ・持続可能な観光開発の促進
- ・観光の貧困軽減及び社会開発における貢献度の拡大
- ・知識の共有、教育、能力開発の支援
- ・パートナーシップの構築

## 「tedQual」認証の評価項目

1. 雇用者 (産業界) ニーズへの対応
2. 学生ニーズへの対応 (学習環境と教育サポート等)
3. 教育内容と教授法の適合性
4. 学部教員と学部ガバナンス
5. マネジメント (目標設定と達成戦略の明確さ)
6. Global Code of Ethics for Tourism (世界観光倫理憲章)

### 世界観光倫理憲章 (UNWTO憲章)

- 第1条：人間と社会間の相互理解と敬意への観光の貢献
- 第2条：個人と集団の充足感を得る手段としての観光
- 第3条：観光：持続可能な開発の要素
- 第4条：観光：文化遺産の利用とその価値を増大させる貢献
- 第5条：観光：受入国及び受入側地域社会に役立つ活動
- 第6条：観光開発の利害関係者の義務
- 第7条：観光をする権利
- 第8条：観光客の行動の自由
- 第9条：観光産業における労働者と事業者の権利
- 第10条：世界観光倫理憲章の原則の実施



# tedQual ( 観光教育認証 ) の取得



## 期待できる「tedQual」認証のメリット

観光教育・研究のグローバルネットワーク（研究、国際学会、コンサル業務）への参加

UNWTO Themis Foundationとの共同プログラム

tedQual Exchange Program

- ・ 認定プログラム間での学生、教員交換プログラム
- ・ UNWTO主催特別プログラムへの奨学制度
- ・ 共同研究への参画
- ・ UNWTOによる学会、行事運営サポート

tedQual Mentoring Program

- ・ 認定プログラム（機関）が他の教育機関のメンター
- ・ 開発途上国での研究プログラムの創設また改善を目的とした開発協力への参加

tedQual Volunteers

- ・ 認定プログラム履修生・卒業生が専門性を活かし途上国観光開発にボランティア参画
- ・ 観光教育・研究における知識向上への貢献、他のUN機関との連携

## 先行して取得している海外大学

クイーンズランド大学（豪）、ジョージワシントン大学（米）、香港理工大学（中）など

# 観光産業を担う中核人材育成講座

## 社会人、産業界を対象にしたリカレント教育

- ・「観光産業を担う中核人材育成講座」（主催：国土交通省観光庁）  
小樽商科大学、和歌山大学、大分大学の3大学において実施（平成28年度）  
受講対象者：全国の旅館・ホテルの経営者、後継者、役員その他管理職等の次世代経営幹部  
講座内容：財務・管理会計、マーケティング、ブランディング等を中心に、各界有識者や大学講師陣による講義、討論
- ・今年度開講予定  
テーマ：デスティネーションにおける観光産業人材の養成  
内 容：観光目的地においては、宿泊施設をはじめとする各種の観光関連産業や観光関連機関が存在する。個々の観光企業においても、それらが有機的に結びついて、当該観光目的地が総体的に発展しなければ、個々の観光企業の発展も考えられない。今回の事業では、観光目的地における宿泊施設をはじめとする各種の観光関連産業や観光関連機関において、個々の組織のみならず、観光目的地内および観光目的地のその外に対して、有意な関係性を持った上で、個々の観光企業および当該観光目的地の発展に寄与できる中核的人材を養成する。

# 今後の観光分野の人材育成

---

観光学の基本領域（観光経営・地域再生・観光文化）への融合的・横断的理解

- ・ グローカルな学びを通じて修得する「持続性と多様性」への視座
- ・ 実践的学びを通じた「ジェネリックスキル（包括的対応力）」の獲得

「国際性」と「学際性」を備えた地域資源活用人材を多方面に輩出し、地方創生を牽引  
（学部）観光関連業24%：運輸、宿泊、旅行・観光施設、公務のうち観光関連  
（大学院）一般・留学生（国費含む）・社会人：公務・研究志望